

PFFP2 フラット TV スタンド 取扱説明書

-----50 型以下のフラットテレビで、重量 58kg 以下に適用 -----

このたびは、PFFP2 のフラット TV スタンドをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。
なお、別途オプションのキャスターを取り付けられる場合は、11 頁をご覧ください。

お客様へ

本製品の組み立てには、確実な作業が必要となります。組み立ての際は、この取扱説明書をよくご覧の上行って下さい。
安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

警告



禁止

ガラス棚の耐荷重は、22kg です。
これ以上の重い物品をガラス棚の上に置いたり、小さなお子さんがガラス棚の上に乗ったり、ぶら下がったりすることは絶対止めて下さい。
ガラス棚が割れたり、落下したりして傷害を負ったり、物品が損傷する恐れがあります。



荷重に耐えられない場所や、不安定な床等には置かないで下さい。
転倒したりして、傷害や物品損傷の原因になります。

⚠ 警告



禁止

PFPP2 フラット TV スタンドは、30～50 型の総重量 58kg 以下のプラズマ及び液晶テレビを、取り付け固定するためのものです。
50 型以上、58kg 以上のフラットテレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。
この指定を守らないと、フラットテレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となります。



禁止

湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。
又、エアコンの下にテレビを取り付けしないで下さい。
テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は 2 人以上で行って下さい。
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。

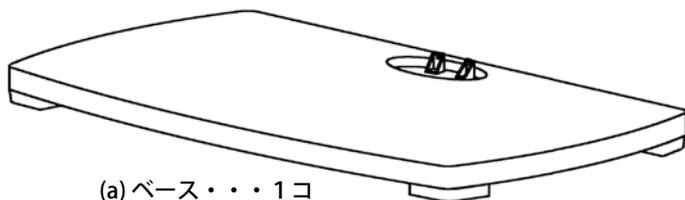


禁止

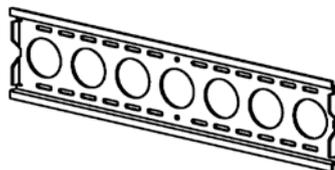
取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。

2. 部品一覧表

A 図



(a) ベース・・・1コ



(b) 壁掛け金具・・・1コ



(c) ガラス棚(大)・・・1コ



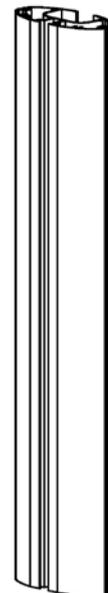
(d) ガラス棚(小)・・・1コ



(e) テレビ右側ブラケット・・・1コ



(f) テレビ左側ブラケット・・・1コ



(g) 支柱・・・1コ



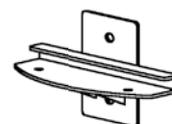
(h) 壁金具取付板・・・1コ



(i) 壁金具スペーサー・・・2コ



(j) 棚取付板・・・2コ



(k) 棚用ブラケット・・・2コ



(l) ガラス棚座金・・・2コ



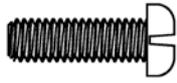
(m) 棚取付金具用キャップ・・・2コ



(n) トップキャップ・・・1コ

部品一覧表のつづき

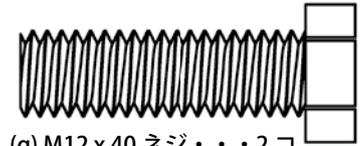
B 図



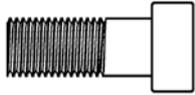
(o) M6 x 20 ネジ・・・2コ



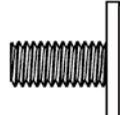
(p) M8 x 35 ネジ・・・2コ



(q) M12 x 40 ネジ・・・2コ



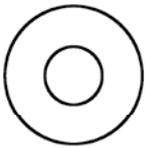
(r) M8 ボルト・・・6コ



(s) 1/4-20 ボルト・・・4コ



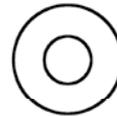
(t) 安全ボルト・・・2コ



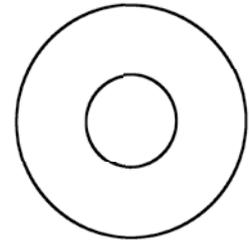
(u) M8 ワッシャー・・・8コ



(v) スプリングワッシャー・・・6コ



(w) プラスチックワッシャー・・・4コ



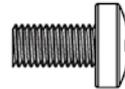
(x) M12 ワッシャー・・・2コ



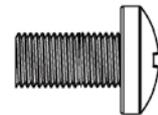
(y) M4 x 12 ネジ・・・4コ



(z) M5 x 12 ネジ・・・4コ



(a a) M6 x 12 ネジ・・・4コ



(b b) M8 x 16 ネジ・・・4コ



(c c) M4 x 30 ネジ・・・4コ



(d d) M5 x 30 ネジ・・・4コ



(e e) M6 x 35 ネジ・・・4コ



(f f) M8 x 40 ネジ・・・4コ



(g g) M4 ロックワッシャー・・・4コ



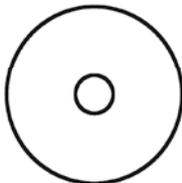
(h h) M5 ロックワッシャー・・・4コ



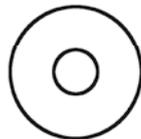
(i i) M6 ロックワッシャー・・・4コ



(j j) M8 ロックワッシャー・・・4コ



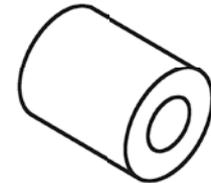
(k k) M4/M5 ワッシャ・・・8コ



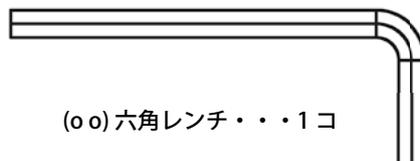
(l l) M6/M8 ワッシャ・・・4コ



(m m) M4/M5 スペーサー・・・4コ



(n n) M6/M8 スペーサー・・・4コ

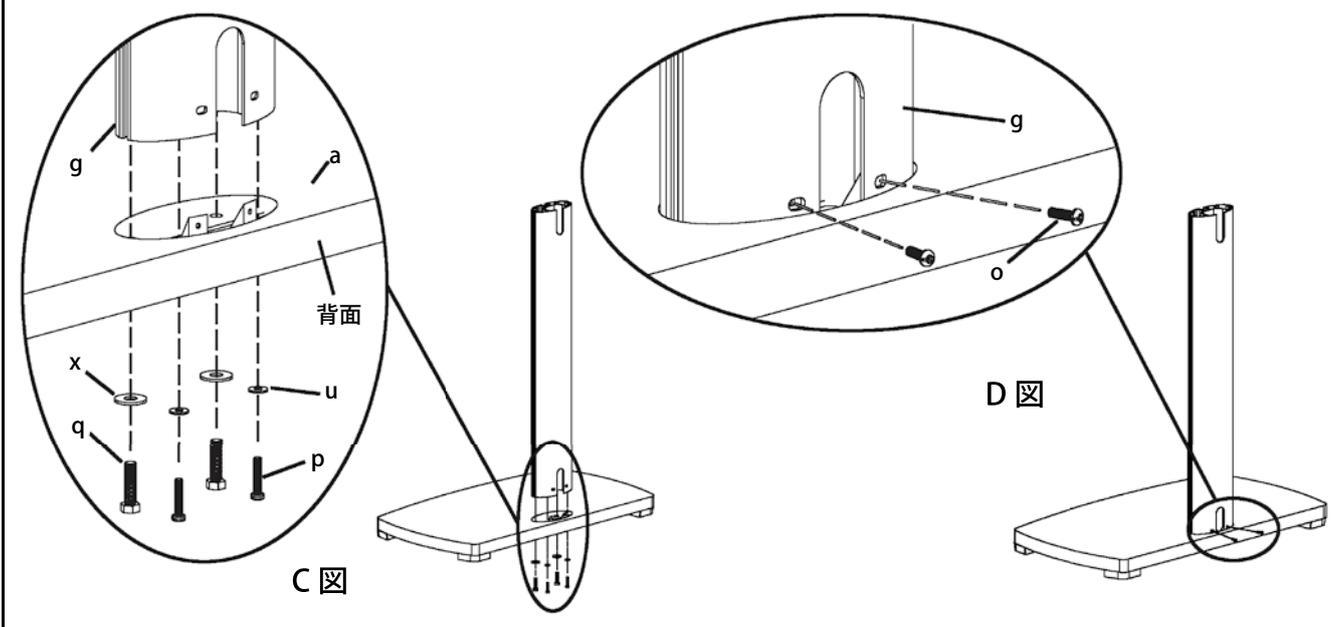


(o o) 六角レンチ・・・1コ

3 組み立てかた

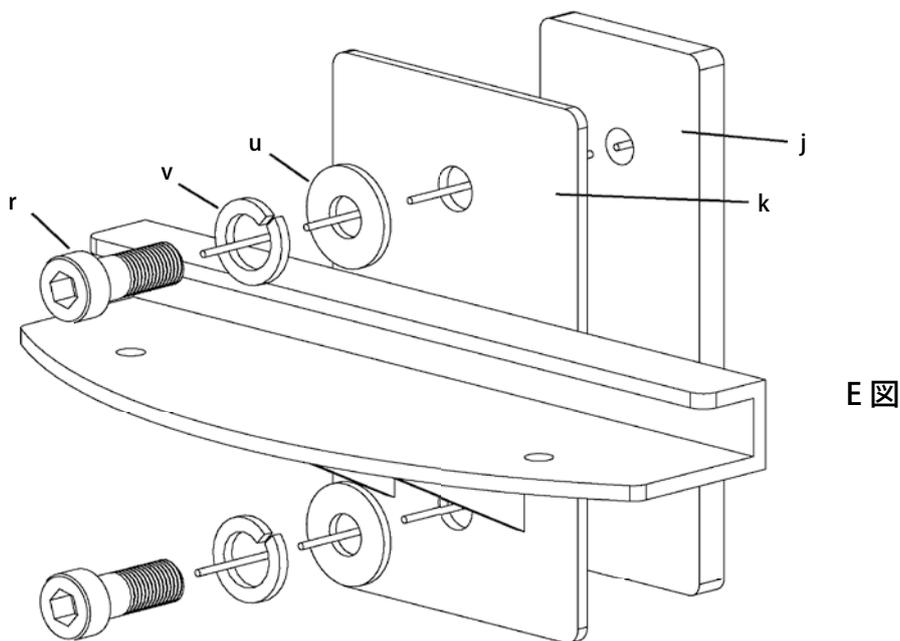
1 支柱をベースに取り付け

- (1) 支柱 (g) をベース (a) の上に垂直に建てるため、M12 ワッシャー (x) と 12 x 40 ボルト (q)、及び M8 ワッシャー (u) と M8 x 35 ボルト (p) で、下図 C の様にボルトでしっかりと締め付けます。
M12 x 40 ボルトは支柱の前面の 2 つの穴に、一方 M8 x 35 ボルトは、支柱の後ろの方の 2 つの穴を通して固定するようにして下さい。
M12 x 40 ボルトはレンチで、M8 x 35 ボルトはプラスドライバーで締め付けます。
- (2) 次に D 図の様に M6 x 20 ボルト (o) を支柱の後ろの穴に入れ、プラスドライバーでこのボルトを締め付けます。



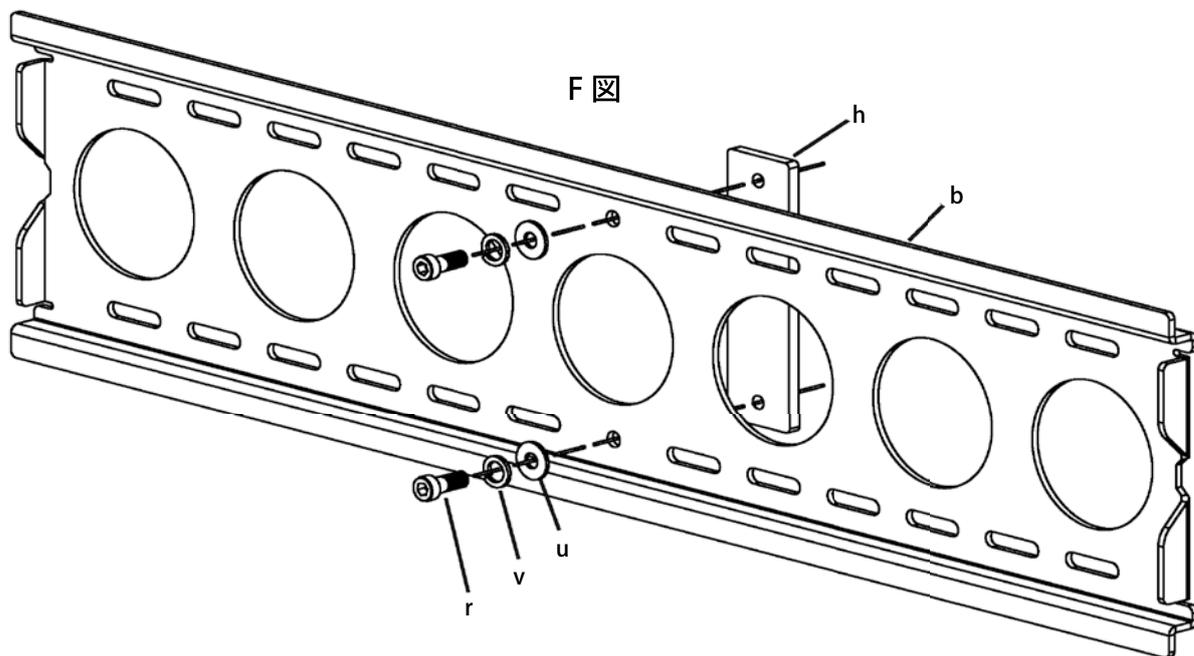
2 棚板取付用アセンブリーの組み立て

- (1) 下図 E の様に、M8 ボルト (r) にスプリングワッシャー (v) と M8 ワッシャー (u) を通し、更に棚用ブラケット (k) を貫通させて、棚取付板 (j) にねじ込みます。
この M8 ボルトは、4 項の組立の為に、棚用ブラケットと棚用金具の間が大略 3mm 程のギャップを保つように、六角レンチ (o o) でゆるくねじ込むようにして下さい。もう一つの棚取付用アセンブリーについても、同様の組み立てを行います。



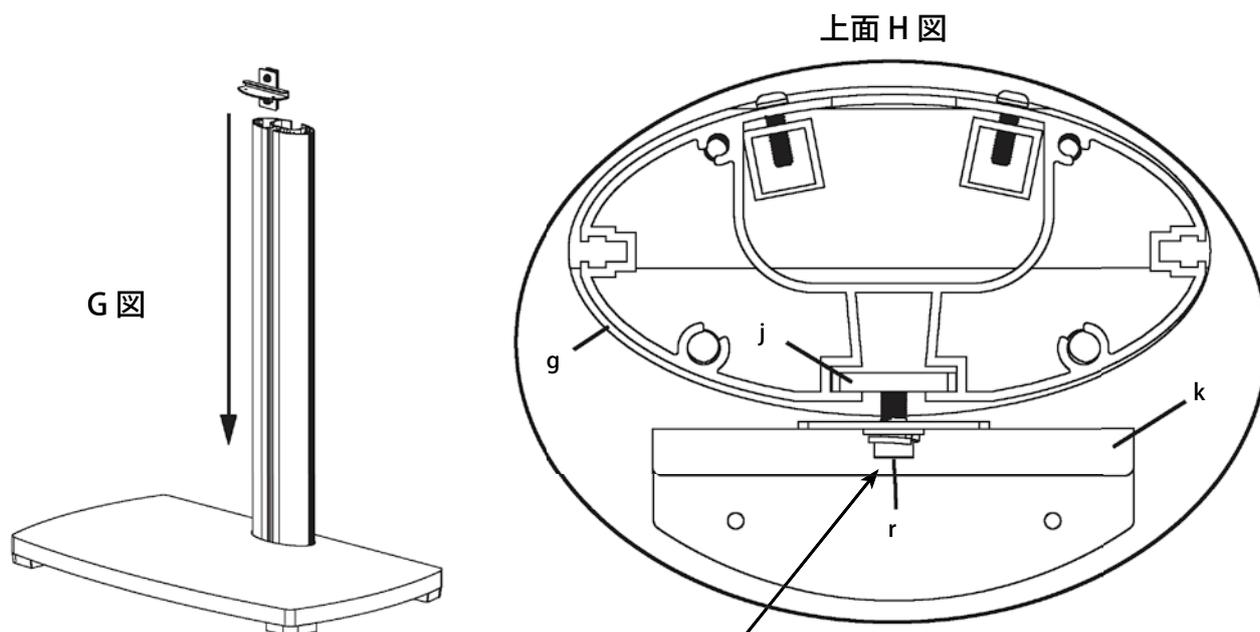
3 壁掛け金具アセンブリーの組み立て

- (1) M8 ボルト (r) にスプリングワッシャー (v) と M8 ワッシャー (u) を通し、更に壁掛け金具 (b) の中央の穴を貫通させて、壁金具取付板 (h) にねじ込みます。
この M8 ボルトは、壁掛け金具 (b) と壁金具取付板 (h) の間が、大略 3mm 程のギャップを保つように六角レンチ (o o) でゆるくねじ込むようにして下さい。



4 棚板取付用アセンブリーの支柱への装着

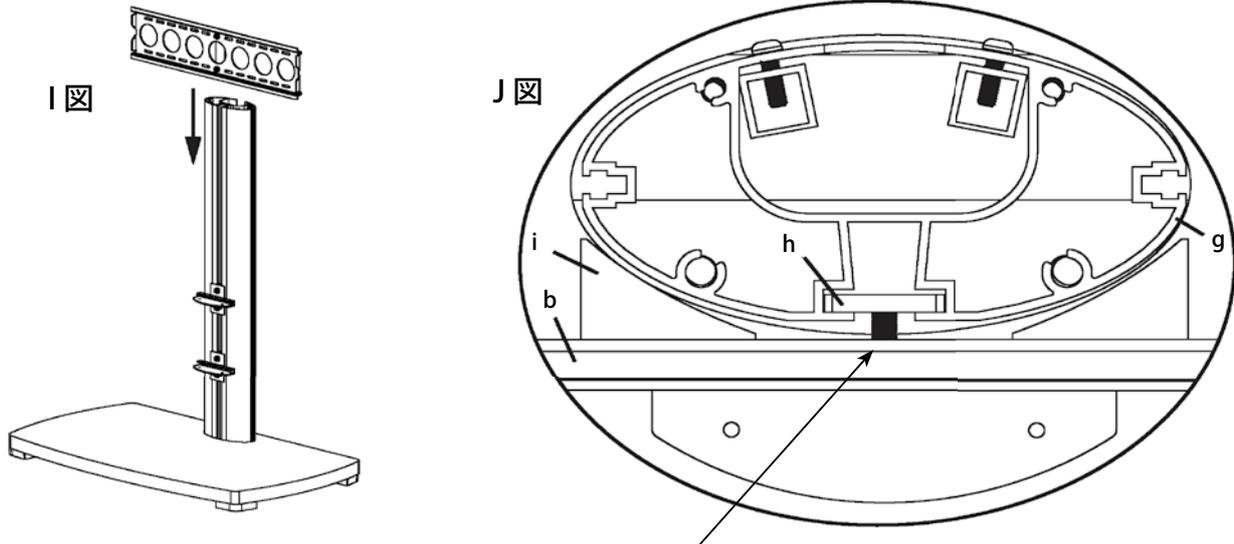
- (1) 前項 2 で組み立てた棚板取付用アセンブリーを、G 図のように支柱の上部から希望する取り付け位置までスライドさせます。
この時棚取付板 (j) が上面 H 図のように支柱の中のチャンネル (溝) に正しく填まっていることを確認して下さい。
- (2) 棚板取り付け用アセンブリーを上下方向に動かして、希望するガラス棚板の取り付け位置となる様調整します。
- (3) 次に、棚板取り付け用アセンブリーを M8 ボルト (r) と六角レンチ (o o) でしっかりと支柱に固定して下さい。
- (4) もう一つの棚板取付用アセンブリーも、同様に支柱に取り付けます。



ガラス棚上の 22kg 程度の重量を保持するのでボルトはしっかりと締める事

5 壁掛け金具アセンブリーの取り付け

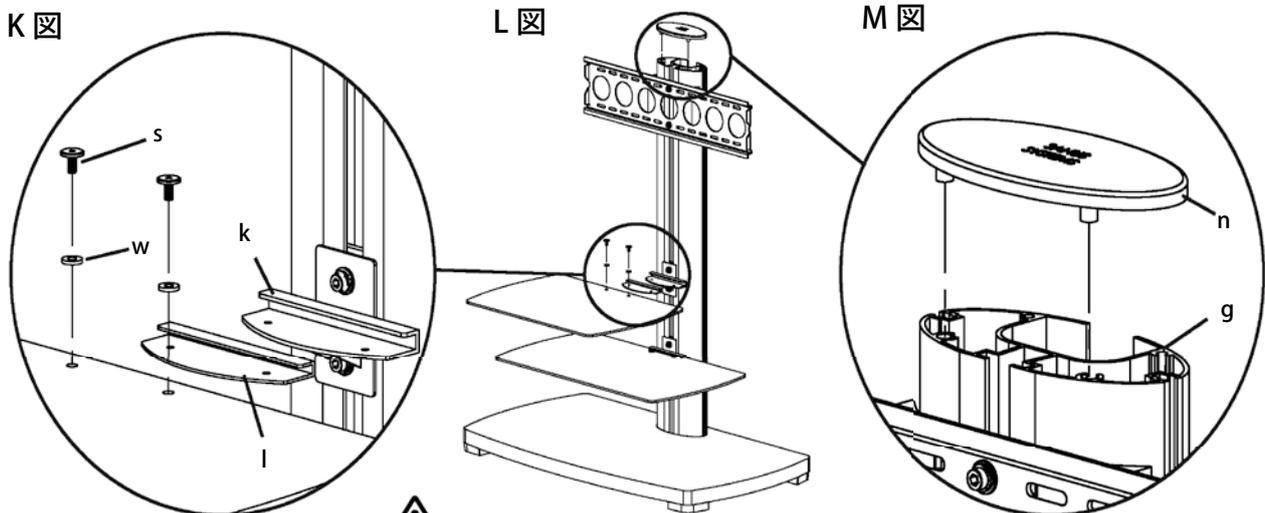
- (1) 壁金具スペーサー (i) のプラスチックのツメ部を、J 図の様に壁掛け金具 (b) の楕円形の穴に正しくはめ込みます。壁金具スペーサー (i) は、壁掛け金具アセンブリーを支柱 (g) にスライドさせる時もしっかりと所定の位置に取り付けてなければなりません。
- (2) 前項 3 で組み立てた壁掛け金具アセンブリーを、I 図のように支柱の上部から希望する取り付け位置までスライドさせます。この時、壁金具取付板 (f) が K 図のように支柱の中のチャンネル (溝) に正しく填まっていることを確認して下さい。
- (3) フラットテレビを取り付ける位置に、壁掛け金具アセンブリーが配置する様に上下方向に微調整します。
- (4) 次に、壁掛け金具アセンブリーを M8 ボルト (r) と六角レンチ (o) でしっかりと支柱に固定して下さい。



58kg 程度のフラットテレビ®の重量を保持するのでこの M8 ボルト (r) は確実に締め付けること

6 ガラス棚の取り付け

- (1) ガラス棚座金 (l) を取り出し、K 図の様にガラス棚 (b 又は c) に挟み込むように挿入します。この時、ガラス棚座金 (l) の穴と、ガラス棚 (b 又は c) のニカ所の穴位置を一致させます。
- (2) 次に、ガラス棚座金 (l) とガラス棚 (b 又は c) を、棚用ブラケット (k) の中にスライドさせます。
- (3) ガラス棚 (b 又は c) を棚用ブラケットに留めるために、1/4-20 ボルト (s) にプラスチックワッシャー (w) を通して、ガラス棚 (b 又は c)、ガラス棚座金 (l) を挟み込みながら、棚用ブラケット (k) に締め付けて固定して下さい。なお、余り過度な締め付けをするとガラスが割れる事があるので、ご注意ください。通常、小さいガラス棚は、大きいガラス棚の上に取り付けます。
- (4) M 図の様に、トップキャップ (n) の底部にあるタブを、支柱 (g) の上部のパターンに合わせて、押し込む要領で下方向に力を加えて、トップキャップ (n) を支柱 (g) の一番上にきちっと固定します。



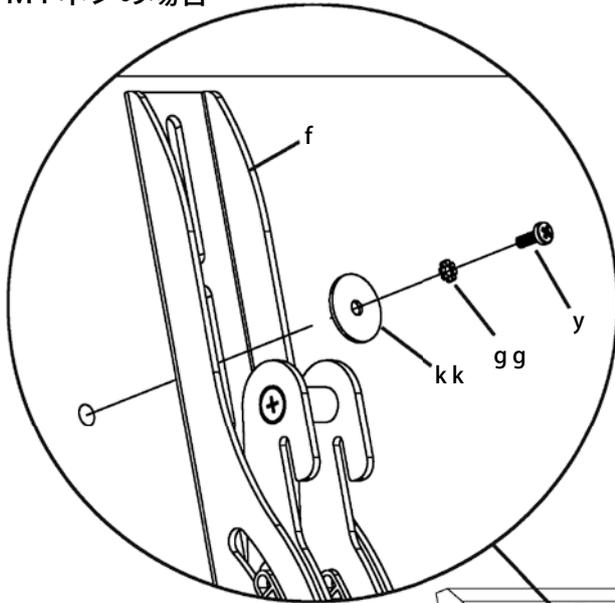
ガラス棚の耐荷重は 22kg です

7 背面が平坦なフラットテレビへのブラケット取り付け

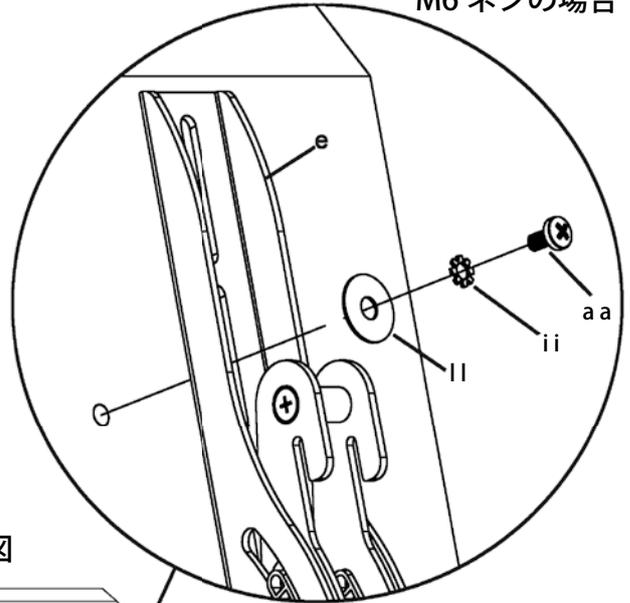
フラットテレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を確認して下さい。

- (1) フラットテレビを壁等のしっかりした場所に置きます。
フラットテレビのガラス面にキズが付くので、ガラス面を下にして床などに置かないで下さい。
- (2) フラットテレビの背面に取り付けるテレビブラケット (e 又は f) の場所を見つけ、そのネジ穴の径を調べます。
M4 ネジ (y)、M5 ネジ (z)、M6 ネジ (a a)、M8 ネジ (b b) を順番に手で緩くねじ込んで、適合するネジの径を見つけます。
もし、手でネジをねじ込んでいる時に、ネジの先端が何かにぶつかった様に感じた時は、直ちにそれ以上ネジ込むのは止めて下さい。
- (3) テレビブラケット (e 又は f) をフラットテレビの後側で、テレビの上下の中央部に垂直に置き、且つ2つのブラケットが左右水平となるように配置します。
- (4) 先に調べたネジの径により、下記 N 図の該当する図面に従い、ロックワッシャー (g g)、(h h)、(i i)、(j j) と、M4/M5 ワッシャー (k k) 又は M6/M8 ワッシャー (l l) を使ってフラットテレビにブラケットをしっかりと取り付けます。

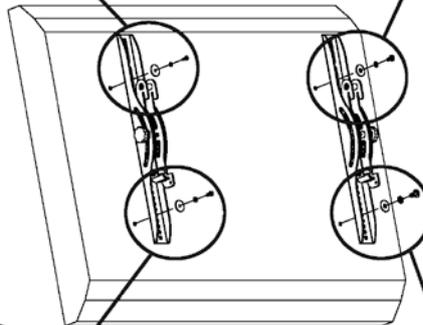
M4 ネジの場合



M6 ネジの場合

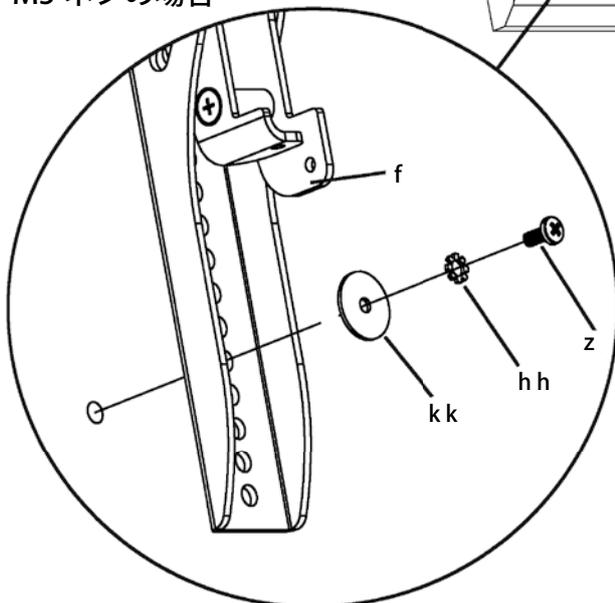


N 図

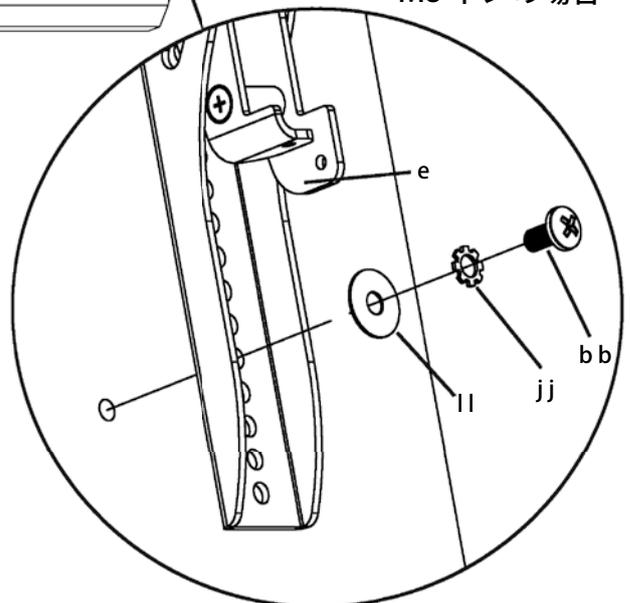


背面が曲線状、又は取付用ネジ部分にくぼみのあるフラットテレビへのブラケットの取付は、次の8項にお進み下さい

M5 ネジの場合



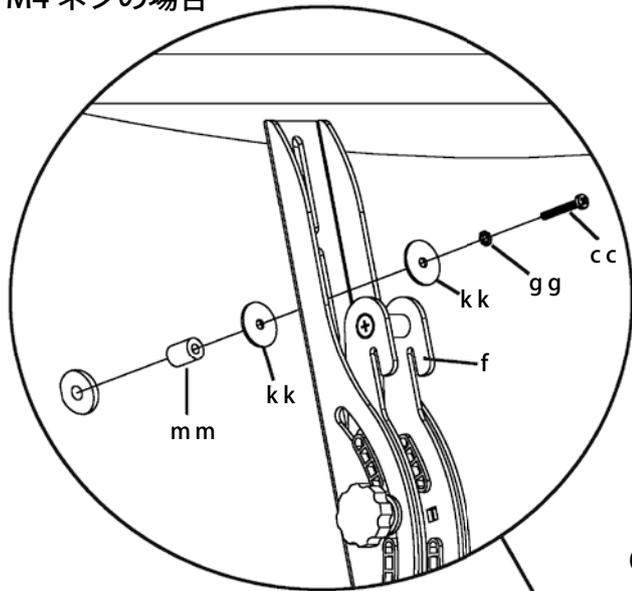
M8 ネジの場合



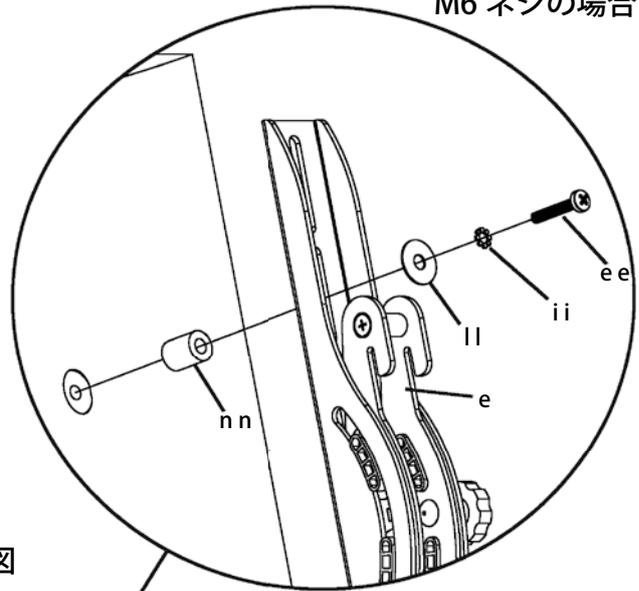
8 背面が曲線状、又は取付用ネジ部分にくぼみのあるフラットテレビへのブラケット取付方法
 フラットテレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を確認して下さい。

- (1) フラットテレビを壁等のしっかりした場所に置きます。
 フラットテレビのガラス面にキズが付くので、ガラス面を下にして床などに置かないで下さい。
- (2) フラットテレビの背面に取り付けるテレビブラケット (e 又は f) の場所を見つけ、そのネジ穴の径を調べます。
 M4 ネジ (c c)、M5 ネジ (d d)、M6 ネジ (e e)、M8 ネジ (f f) を順番に手で緩くねじ込んで、適合するネジの径を見つけます。
 もし、手でネジをねじ込んでいる時に、ネジの先端が何かにぶつかった様に感じた時は、直ちにそれ以上ネジ込むのは止めて下さい。
- (3) テレビブラケット (e 又は f) をフラットテレビの後側で、テレビの上下の中央部に垂直に置き、且つ2つのブラケットが左右水平となるように配置します。
- (4) 先に調べたネジの径により、下の O 図から、該当する図面に従い、ロックワッシャー (g g)、(h h)、(i i)、(j j) と、M4/M5 ワッシャー (k k) 又は M6/M8 ワッシャー (l l)、及び M4/M5 スペーサー (m m) 又は M6/M8 スペーサー (n n) を使ってフラットテレビにブラケットをしっかりと取り付けます。

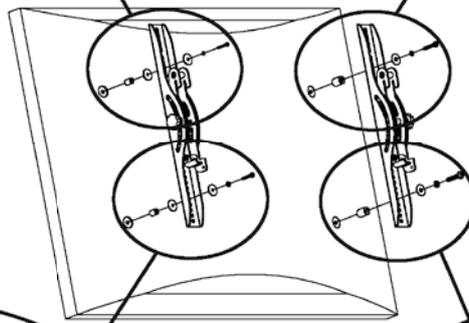
M4 ネジの場合



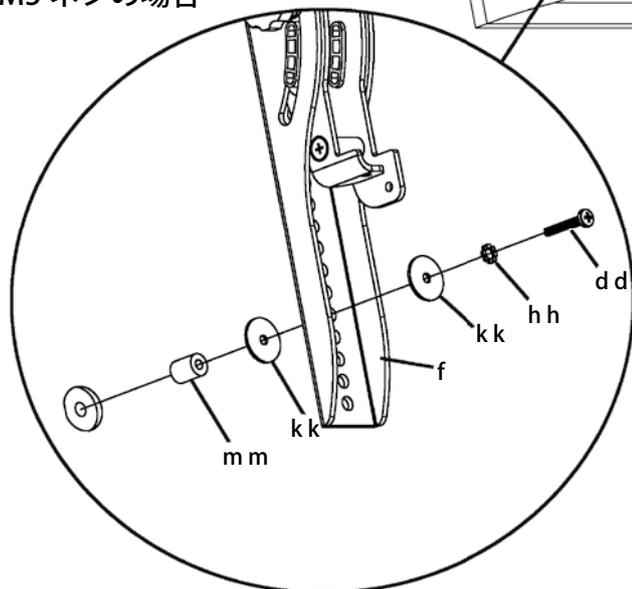
M6 ネジの場合



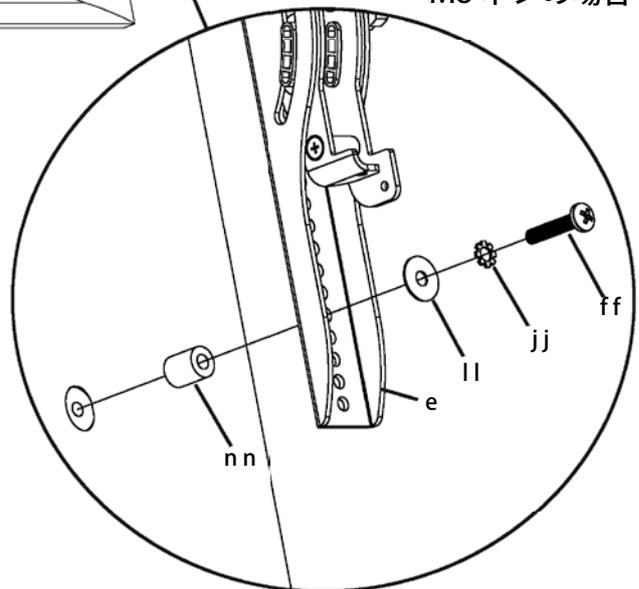
O 図



M5 ネジの場合

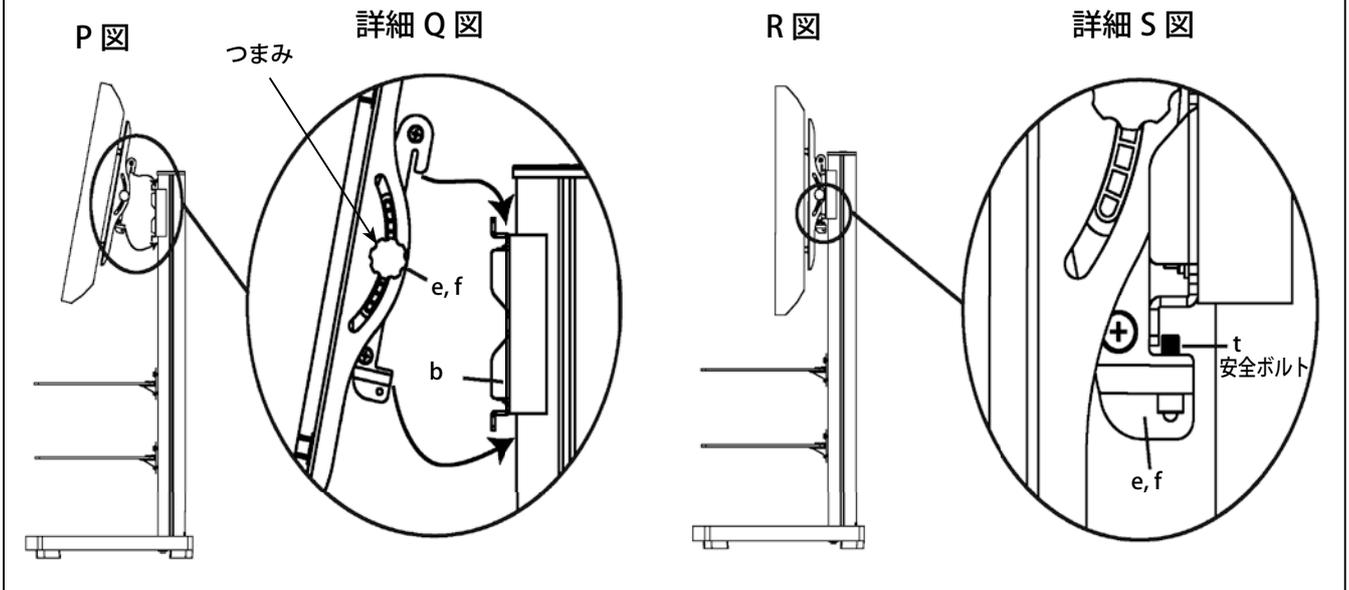


M8 ネジの場合



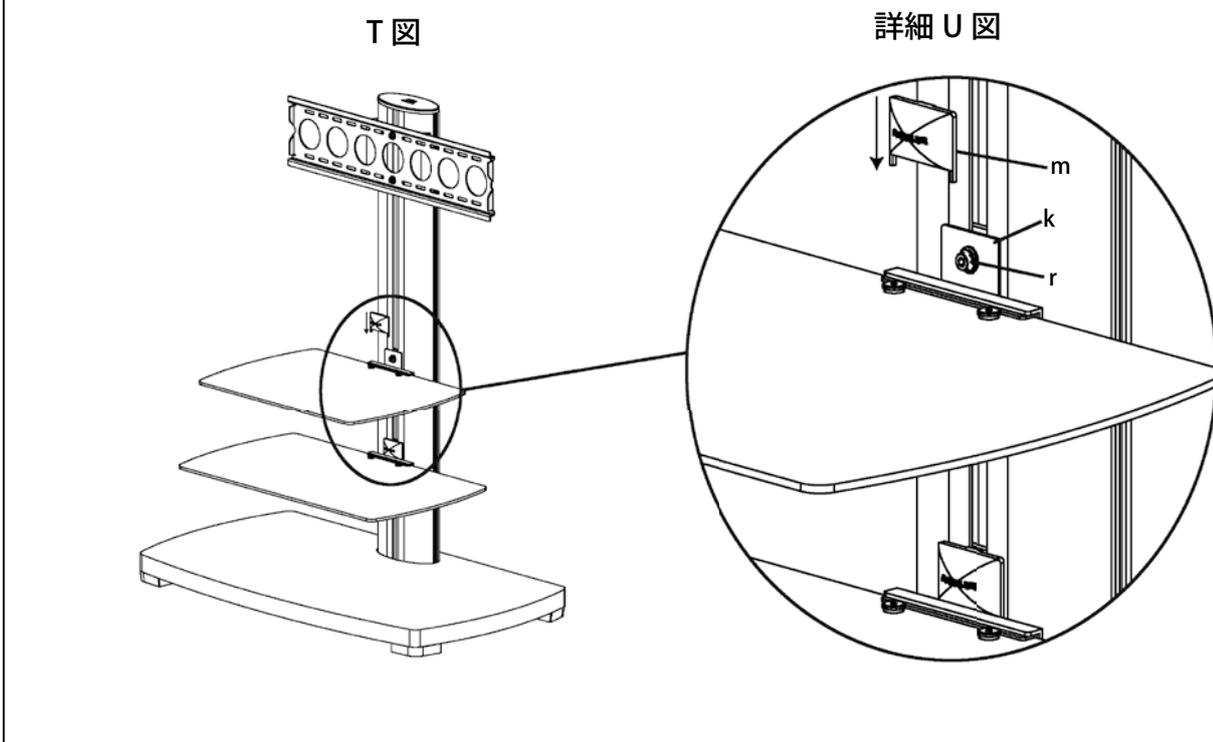
9 フラットテレビの取付と安全ボルトによる固定

- (1) フラットテレビを壁掛け金具 (b) のある場所へ二人で持ち上げて運びます。
- (2) フラットテレビの背面に取り付けたブラケット (e, f) の上部のツメを、詳細 Q 図の様に壁掛け金具 (b) の上部に引っ掛けます。
- (3) 次にブラケット (e, f) の下部を回転させて、壁掛け金具 (b) の下部に詳細 S 図の様に押し当てます。
- (4) 安全ボルト (t) をブラケット (e, f) の下にあるネジ穴に押し込んで、六角レンチ (o o) で締め付けます。これで詳細 S 図の様に、安全ボルト (o o) が壁掛け金具 (b) の下部のタブの後側に配置されます。
- (5) 最後に、ブラケット (e, f) の中央のつまみを一旦緩めて、フラットテレビをご希望の前後方向の角度を調整した後、このつまみを締め付けて下さい。



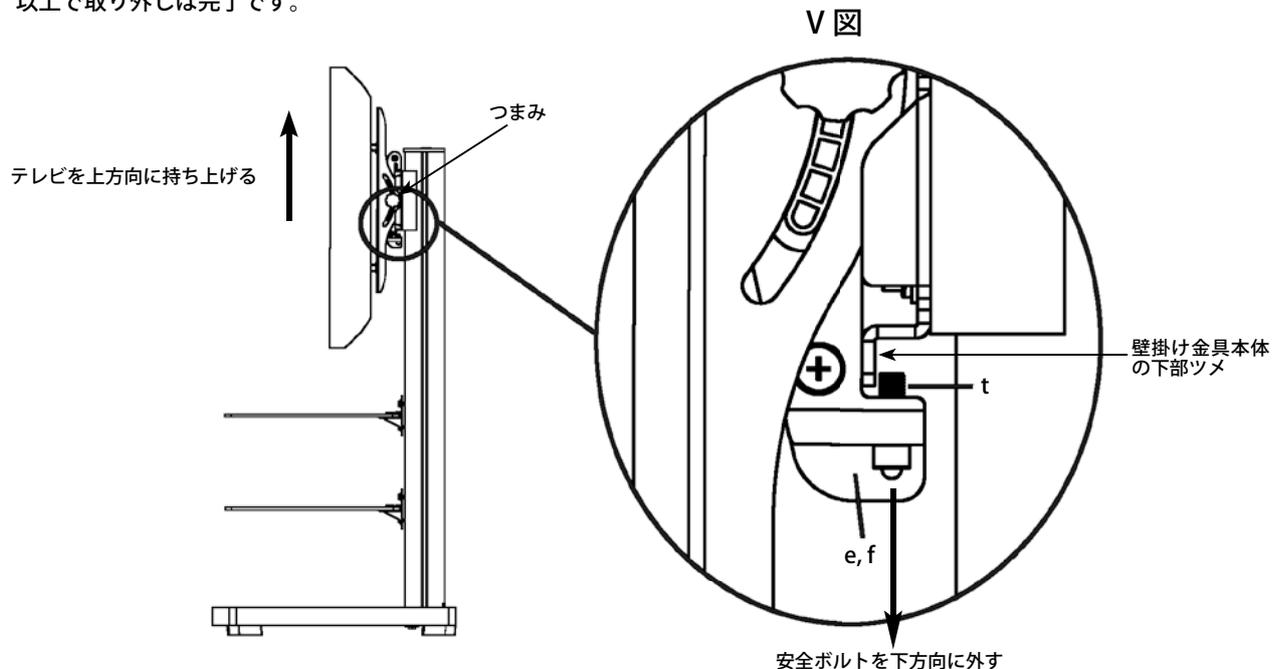
10 棚取付金具用キャップの固定

- (1) 詳細 U 図に示すように、棚取付金具用キャップ (m) は、M8 ボルト (r) を隠すように棚取付金具 (k) の上に被せます。
- (2) 以上で PFFP2 の組み立ては完了です。



4 フラットテレビを壁掛け金具から取り外す方法

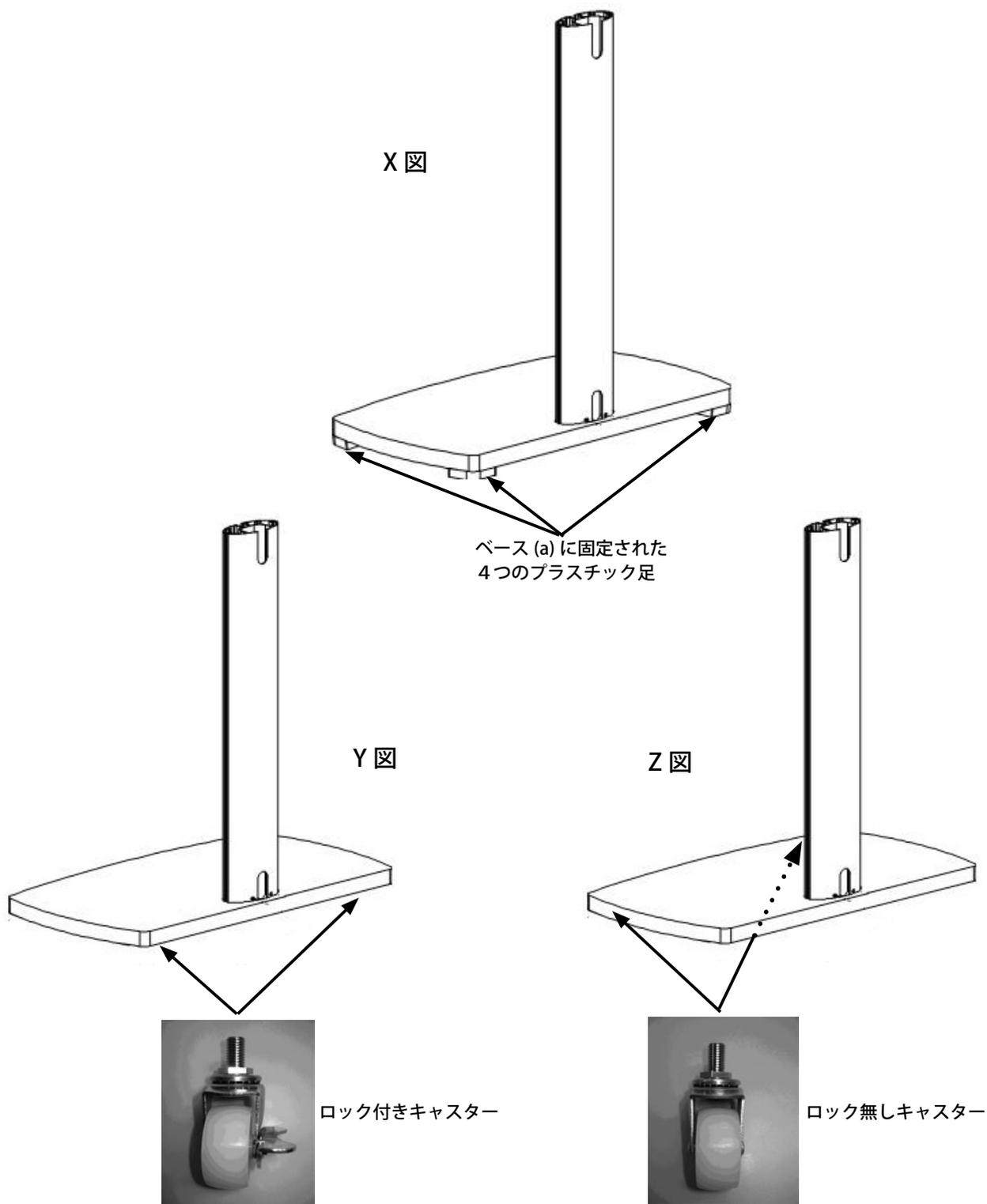
- (1) フラットテレビ背面に取り付いているブラケット (e, f) の中央部にあるつまみを緩めて、フラットテレビが垂直になる様前後角を動かした後、このつまみをしっかりと締め付けてフラットテレビを垂直に固定します。
- (2) ブラケット (e, f) 下部に取り付いている安全ボルト (t) を六角レンチで緩め、V 図の様にこのボルトをブラケットから取り外します。
- (3) フラットテレビの下部を前方向に寄せながら、二人で上方方向に持ち上げて、テレビを壁掛け金具 (b) から取り外します。
- (4) 以上で取り外しは完了です。



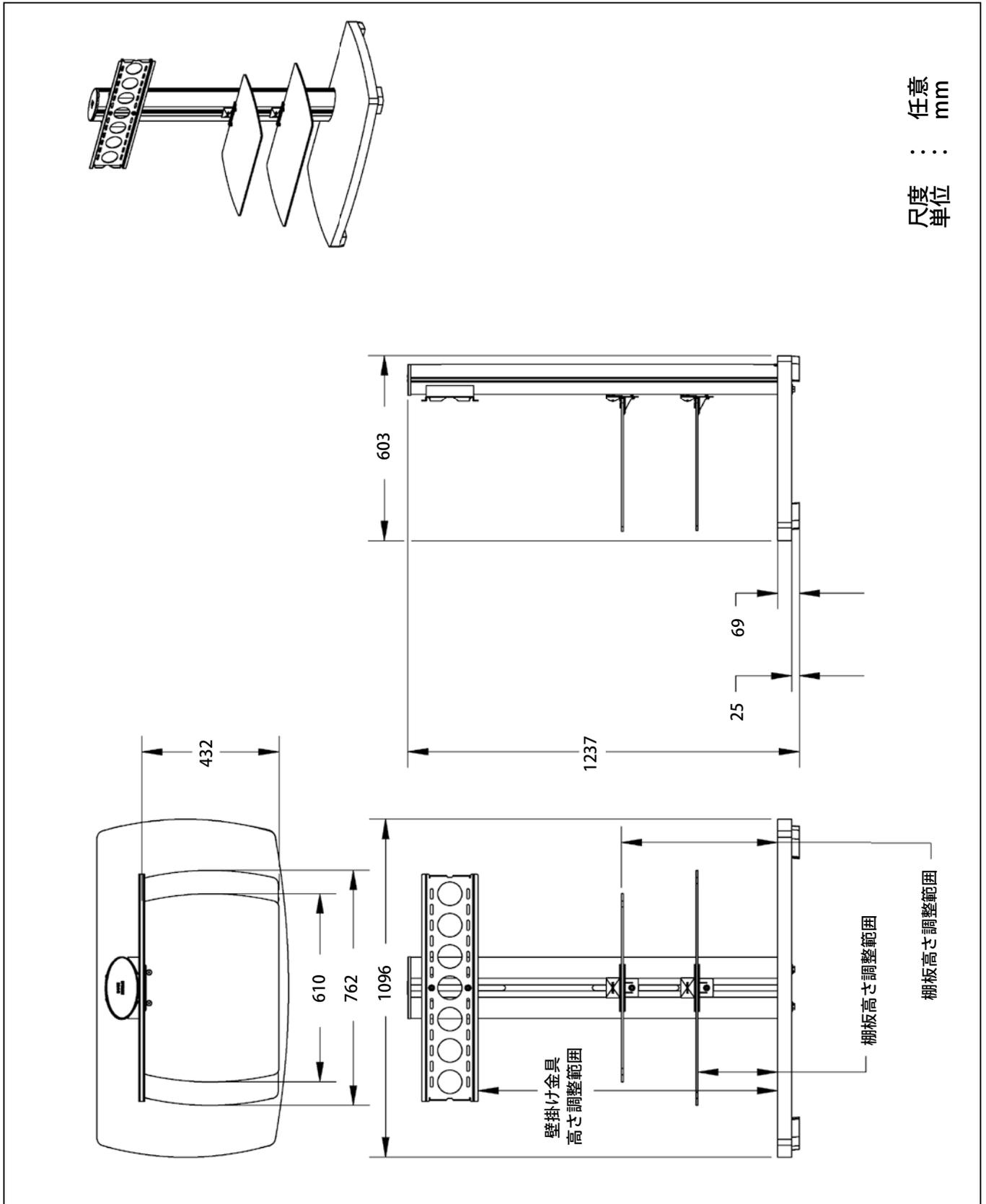
5 キャスターの取付 (オプション)

次の組立の説明は、オプションのキャスターを取り付けられる場合に適用します。キャスターを取り付けない場合は、以下の組立説明は、不要です。

- (1) X図に示すように、ベース (a) の裏側に、4つのプラスチック製の足があります。さらに、このベース (a) の裏側に、4つの M12 のネジ穴があります。
- (2) プラスチック足の代わりに、キャスターを取り付けるには、先ずプラスチック足を取り外します。
- (3) 次に、キャスターのネジを、M12 のネジ穴にしっかりとねじ込んで下さい。
- (4) ロック付きの2つのキャスターは、Y図のようにベースの後方に取付けます。同様に、ロックなしの2つのキャスターは、Z図のようにベースの前方に取り付けます。



6 PFFP2 外観図



お問い合わせ、ご購入は営業窓口へ
 Sanus Systems 輸入総代理店・発売元 **ネットワークジャパン株式会社**
 〒 559-0012 大阪市住之江区東加賀屋 2-8-1 2 Tel: 06-6686-6355 Fax: 06-6681-5734
 E-mail: info@network-jpn.com
 URL: <http://www.network-jpn.com/sanus/>